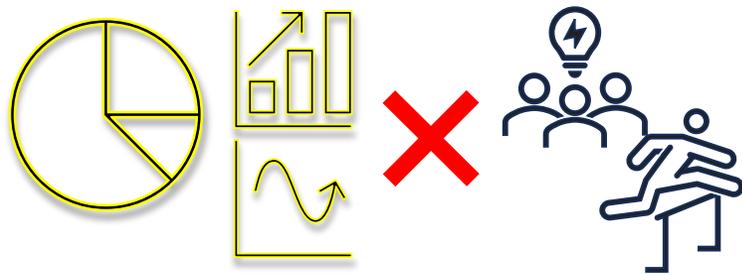


クロージング

第6期 ODC分析研究会 成果報告会 クロージング



2025/3/14 (Fri.)
ODC分析研究会 運営委員会
委員長 佐々木 方規

ご挨拶

本日は、第6期ODC分析研究会 成果発表会にご参加いただき、
ありがとうございます。

ODC分析研究会では、第4期～第6期をテーマ毎の研究に
取り組んで参りました。成果発表は3期振りとなります。

本日の参加者は 86名様にご参加いただきました。

欠陥分析/欠陥エンジニアリングについて

2024年版 情報サービス産業 (JISA) における 情報技術マップに関する調査報告において

□欠陥マネジメント/エンジニアリングは SI実績指数と認知度指数は調査した要素技術では下位10件と なっています。

まだまだ、欠陥分析が活用されて いない現状があります。



非常に悲しい現実です

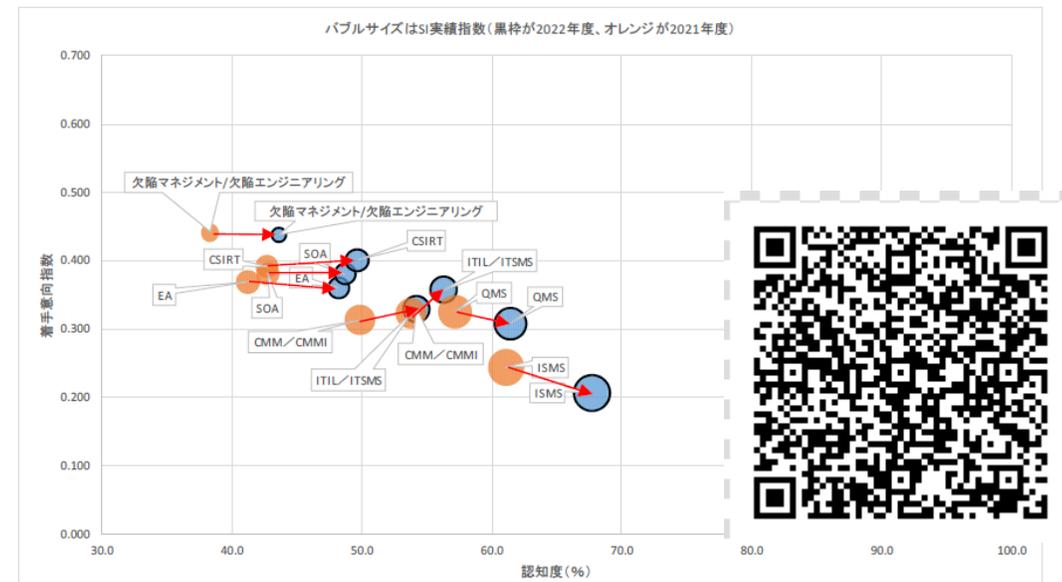


K) IT ガバナンス

◆指数一覧

要素技術	SI実績指数		着手 意向指数		認知度		継続利用 意向指数	
	指数	順位	指数	順位	(%)	順位	指数	順位
EA	0.219	75	0.360	57	48.2	103	0.793	86
SOA	0.208	81	0.381	49	48.7	102	0.707	100
ITIL/ITSMS	0.327	53	0.358	58	56.3	83	0.902	35
QMS	0.402	29	0.507	00	61.0	00	0.937	13
欠陥マネジメント/欠陥エンジニアリング	0.108	106	0.437	27	43.6	114	0.687	102
CMM/CMMI	0.322	67	0.322	62	51.6	86	0.812	70
ISMS	0.598	14	0.206	89	67.7	47	0.950	7
CSIRT	0.2424	74	0.4009	42	49.635	100	0.9252	24

◆認知度マップ



欠陥マネジメントの意義

ODC分析の目的は「ソフトウェア開発プロセス」のやり方について診断し、健全になるための示唆をすること

ODC分析の紹介

ODC分析研究会

ODC分析とは (Orthogonal Defect Classification)

工程実施の妨げとなる不具合を低減するために (Defect control)

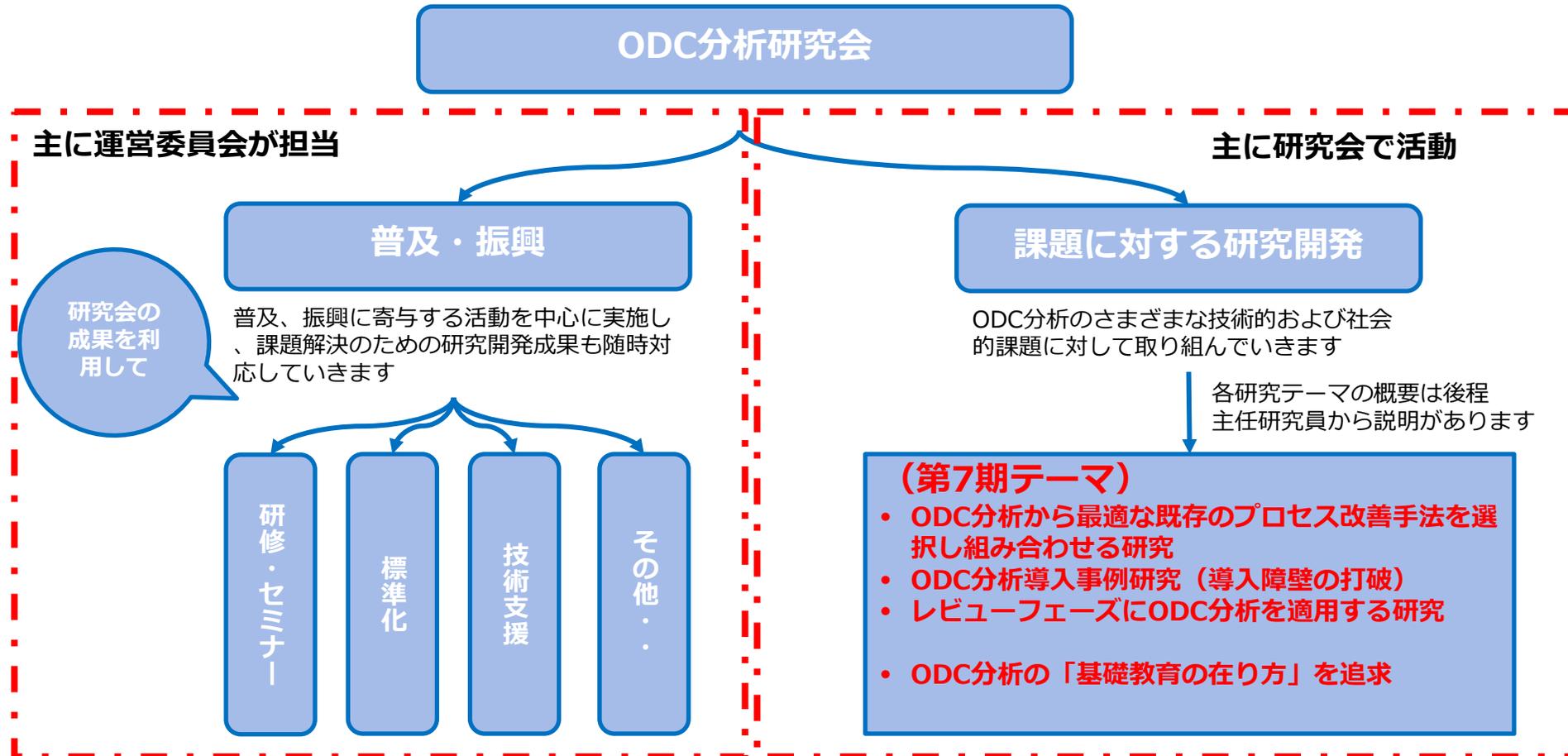
不具合を排他的な(Orthogonal)属性毎に分類・集計し、出方を分析することで

- 工程実施の「やり方」の質が定量的に見える化でき
- 必要なアクションが示唆される

ソフトウェア不具合の定量的分析手法である。

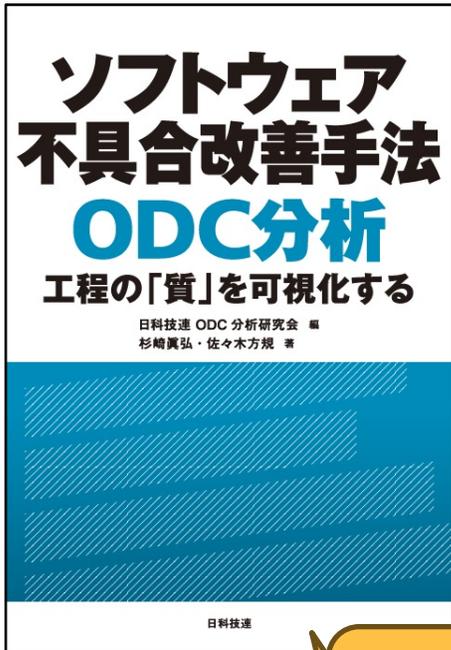
これからODC分析研究会が(今までもこれからも)目指す役割

ODC分析研究会はODC分析の普及・振興と研究開発を目指します



ODC分析の基礎を学ぶ参考情報

ODC分析研究会では、研究成果として下記の2つの学習コンテンツを開発しリリースしています。これらはODC分析の基礎を大切にし、ODC分析の実績データに基づいて制作しています。これからODC分析を学ばれる方、はじめてODC分析の適用をご検討の方は参考にしてください。



導入支援もご
相談ください。



企業/組織
向けの個別
セミナー可
能です。

回数	開催日	開催地	申し込み状況
第1回	2025年 6月 23日 (月)～24日 (火)	ライブ配信	受付中
第2回	2025年 9月 11日 (木)～12日 (金)	ライブ配信	受付中
第3回	2025年 12月 4日 (木)～5日 (金)	ライブ配信	受付中
第4回	2025年 3月 9日 (月)～10日 (火)	ライブ配信	受付中

セミナーの日程、開始・終了時刻、カリキュラム、会場は、都合により変更することがあります。また、諸般の事情によりセミナーの開催を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

ODC分析の
オーソリティ
による研修



研究会発信：ODC属性の日本語版を準備中です。

ODC分析研究会では第1期より、ODC属性の日本語版に取り組んで参りました。

ODC属性を日本語化する目的は下記の通りです。

- ・ **活発に議論を進めるために共通言語としてのODC属性を定義する**

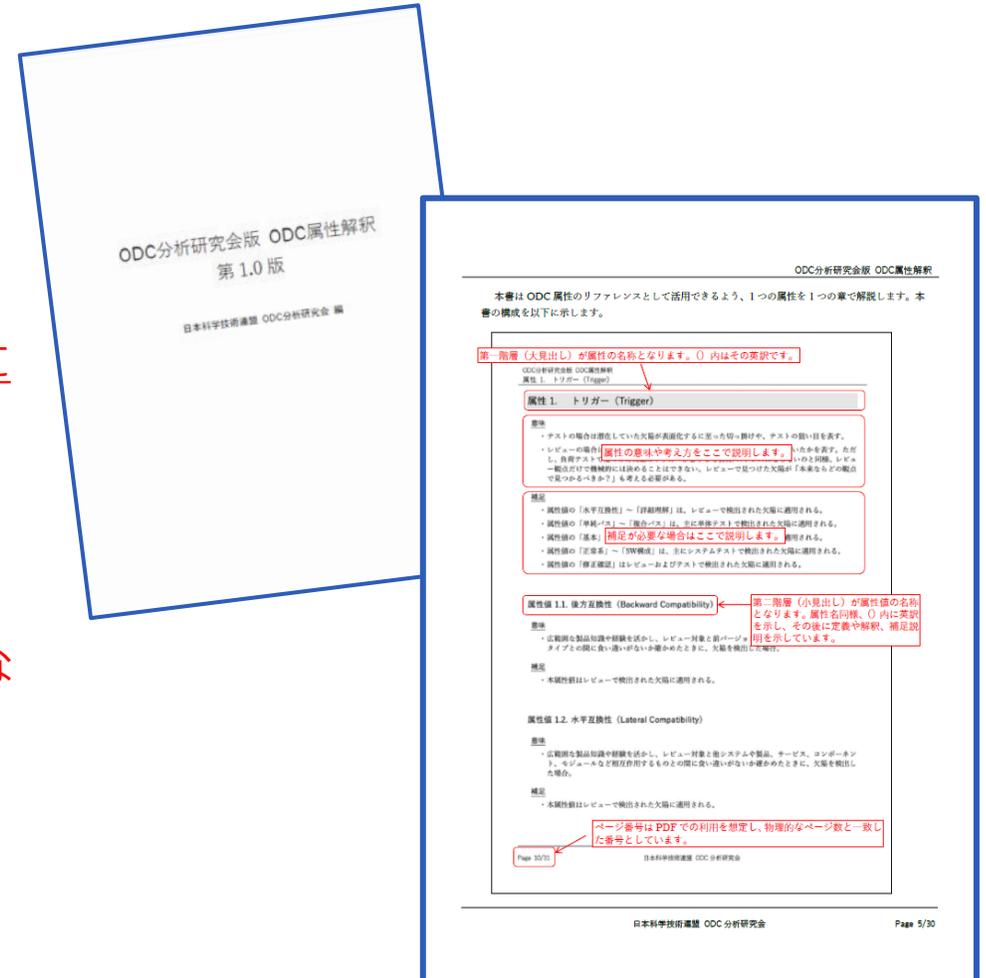
ODC属性の日本語版の位置付け。

- ・ 現在（2025/03月時点）において **様々なものが流布されており、中には実績データが伴わない（公開されていない）ものがある。**
- ・ 準備中のODC属性の日本語版もODC研究会で机上議論されたもので、**実績データでの確認はこれから。**

準備中のODC属性の日本語版にあたり、利用には注意点があります。

- ・ 「ODC属性の日本語版」は研究段階であり、**結果を担保するものでないこと承諾する必要がある**
- ・ **利用者はODC分析の活動実績があり「ODC属性の日本語版」を利用した結果を客観的に評価できること**
- ・ **（任意）「ODC属性の日本語版」を利用した結果をODC分析研究会に共有すること（機密性に関わるデータは不要）**

上記の内容を精査中です。公開まではしばらくお待ちください。



第7期ODC分析研究会がスタート！！

第7期もODC分析研究会を実施予定です。日程は下記の通りとなります。

第1回	第7期ODC分析研究会	2025/05/09 (金)
第2回	第7期ODC分析研究会	2025/06/13 (金)
第3回	第7期ODC分析研究会	2025/07/11 (金)
第4回	第7期ODC分析研究会	2025/08/08 (金)
第5回	第7期ODC分析研究会	2025/09/04 (木)
第6回	第7期ODC分析研究会	2025/10/03 (金)
第7回	第7期ODC分析研究会	2025/11/21 (金)
第8回	第7期ODC分析研究会	2025/12/19 (金)
第9回	第7期ODC分析研究会	2026/01/16 (金)
第10回	第7期ODC分析研究会	2026/02/20 (金)
第7期	ODC分析研究会 成果発表会	2026/3月—開催予定

積極的なご参加を
お待ちしております。

第7期のODC分析研究会 募集の流れ (予定)

- ・ 3/19 : 募集開始、Web公開 (参加動機などをお伺いします)
- ・ **4/18 : 申込締切**
- ・ 4/25 : 研究員の採用のご連絡/委嘱手続き開始 など

その他

ODC分析にご興味を持たれた方は、「ODC分析研究会」の活動についてもご参照ください。

ODC分析研究会

- ▶ [第6期ODC分析研究会 活動開始！【NEW】](#)
- ▶ [ODC分析とは？コラム&YouTube公開中！](#)
- ▶ [第3期活動報告会のレポートを公開しました！](#)

■ 設立主旨

日本の高い品質のものづくり文化を根底から支える品質管理や品質保証の分野において、検証結果の欠陥分析は重要な技術テーマです。旧来より品質管理において「欠陥」は、除去する対象だけでなく、品質の向上を実現する種として重要視されています。しかし欠陥分析は、日本の企業群や組織でさまざまな取り組みが行われている結果、統一された分析技法の定着を阻害しています。分析技法が標準化されていないことで、「欠陥」そのものでなく欠陥の除去技術や製品の品質評価方法などが組織の壁を越えて議論され難しくなっています。これらを解決するためには、欠陥分析に関係する用語や欠陥を分類する属性を統一し、共通の言語で品質を語ることを提供することが必要です。「ODC（Orthogonal Defect Classification、直交欠陥分類）分析研究会」は、企業や組織の枠組みを超えて欠陥分析の議論や研究を行い、その成果を、ものづくりを行う企業に提供し、日本の産業界の発展に貢献して参ります。

[PDF](#) [ODC分析研究会 会則](#)



第6期ODC分析研究会 成果発表会にご参加のお礼

ご清聴ありがとうございました。

長時間、ご参加いただき、ありがとうございます。

第7期もODC分析/欠陥マネジメントの研究、および普及振興を進めて参りますので、ご協力・応援をよろしく申し上げます。